



留学生センター通信 No.38

静岡英和学院大学・静岡英和学院大学短期大学部

2024年2月

<特集>「静岡版創作舞妓ストリートファッションショー」

2023年10月9日(月)、静岡市葵区七間町の名店街を舞台に、「静岡版創作舞妓ストリートファッションショー」が開催されました。本イベントは、静岡着付けサークルの美容師たちが技術継承を目的に行っており、今年度で8回目となります。

本学からは、スリランカ出身の留学生ジェラミ ネルカ リーシャニさん(4年)、同じくスリランカ出身の留学生ニシャーニ ランドゥヌ セーナーディラさん(4年)、ベトナム出身の留学生グエン ティ トゥ チュックさん(2年)の3名が参加しました。



鮮やかな衣装を身に纏う、ジェラミさん(左)、チュックさん(中央)、ニシャーニさん(右)

それぞれが自分で選んだお気に入りの振り袖を着つけてもらい、コミュニティホール七間町で披露。ホールでは硬い面持ちだった彼女たちも、和傘を手に街を歩いて行くと緊張も解れた様子で、道行く人たちから向けられるカメラに笑顔で応えるジェラミさんは、「着物もお化粧も気に入った。とても貴重な体験ができて嬉しい」と話してくれました。

華道体験を実施

2023年12月13日(水)、お昼休みの時間を利用し「華道体験(フラワーアレンジメント)」を実施。今回も日本文化部華道部講師の泉水先生にご指導いただきました。

ツガ・ヒバ・バラ・エリンジウムなど様々なお花を前に、最初は戸惑っていた留学生の皆さん。時折、泉水先生にアドバイスをもらいながらオリジナルティーあふれる作品に仕上げていきました。

完成品はどれも個性が溢れており、それぞれの性格が映し出されているようでした。



泉水先生にアドバイスをもらう
シンさん

CONTENTS

・特集

「舞妓ストリートファッションショー」開催!

・君に迫る!

(ウオン ル シェンさん)

・入試センターからのお知らせ

第58回「楓祭」を開催！

2023年11月18日（土）19日（日）に、第58回楓祭が開催されました。

今年度は2日間の開催となり、コロナ禍前の活気・賑わいが戻ってきました。

留学生センターでは、1日目に中国料理の「水餃子」「ごま団子」、2日目にスリランカ料理の「タンドリーチキン」の模擬店を出店しました。海外の味を楽しめるとの事で、

どの料理も大好評！ハブニングもありながらでしたが、両日とも100食以上用意した料理は完売し、スタッフには達成感を感じられました。



スタッフみんなで協力しながら
100食以上の準備を頑張りました！



水餃子もごま団子もどちらも「美味しい」と
声があがっていました



タンドリーチキンは13時には売り切れてしまう
ほどの人気ぶり♪

模擬店の他には、A202教室にて「ミャンマー」「スリランカ」「ベトナム」「中国」の母国紹介パネル、日本人学生が留学へ行ったオーストラリアの紹介パネルの展示を行いました。パネルには、国の有名な料理や人気のイベント、民族衣装などの紹介文に写真やイラストがたくさん描かれており、来場者の興味を惹いていました。

パネルの展示だけではなく、実際に民族衣装を試着体験できるブースも用意しました。試着してくれた方には「チェキ」での記念撮影サービス付き！その場で写真を貰うことができ、こちらが大盛況！合計100名以上の来場者があり、楓祭を盛り上げる1つのブースとなりました！



母国紹介のパネルが鮮やかで目を惹きます

焼津中央高校にて交流会

2023年12月9日（土）に焼津中央高校を訪問し、高校生との交流会に参加しました。プレゼンテーションやグループワークは全て英語で行い、文化交流の促進と英語を実践的に活用する機会を設けるといった趣旨のもと開催されました。



発表用のスライドショーは自作！
観光地を紹介するフィクリさん

ファム ティリエンさんとブイ フィ ヴさん（人間社会1年）はベトナム、ミヤパール ソーさんとナン ソー カリヤーウーさん（人間社会2年）はミャンマー、ムハマド アンワル フィクリさん（人間社会3年）はインドネシアについて、それぞれ母国の文化などを英語で紹介。高校生の皆さんは熱心に耳を傾け、日本の文化との違いに驚いていました。



高校生の皆さんと記念写真

始めて日本の高校生と交流したナンさんは「新鮮な経験ができた。母国の事について色々知ってもらえてよかった」と感想を述べてくれました。

ウォン ル シェンさん

(マレーシア出身)

(略歴) マレーシアのジョホールバル州出身。
2018年4月に来日し、浜松日本語学院から静岡英和学院大学に入学。永山ゼミに所属し、心理学を学ぶ。

趣味はピアノを弾くことで、特技は4つの言語(中国語・英語・マレー語・日本語)を話せること。



バックにはきれいな富士山が写る、お気に入りの1枚

私のとっておき静岡スポット



熱海の花火大会

君に迫る！～留学生の静岡における素顔に迫る～Vol.17

Q 1. 静岡に来てよかったと思うことは何ですか？

静岡の魅力はたくさんあります。美しい自然、温泉、新鮮な海産物、そして「ちびまる子ちゃん」の舞台として知られています。私は「ちびまる子ちゃん」が大好きで、「ちびまる子ちゃん」の漫画家さくらももこは静岡英和学院大学短期大学部出身です。さくらももこと同じ大学で学んでいると知って、とても興奮しています。

Q 2. 入学時に困ったことはありましたか？

入学時、偶然に新型コロナウイルスに遭遇し、そのため大学1年と2年はすべてオンライン授業で、学校へ行けませんでした。自宅でのオンライン授業は注意を集中させるのが難しく、自粛のため家族や友達にも会えず、寂しかったと思います。しかし、大学3年からは学校に通えるようになり、大学生活を経験できるようになりました。だからこそ、残りわずかな留学生生活をとても大切にしていきたいと思います。

Q 3. なぜ静岡英和学院大学を選んだのですか？

大好きな漫画「ちびまる子ちゃん」の作家さくらももこは静岡英和学院大学短期大学部出身です。また、静岡英和学院大学が提供する心理学のプログラムに興味があるので、静岡英和学院大学を選びました。

Q 4. 大学生活を通して、最も変わったことは何ですか？

大学生活を通して、最も変わったことは、独立したということです。一人暮らしのため、自分で料理や掃除などを学び始めました。最初は大変だったけど、今は慣れました。また、性格も大きく変化し、特に人間関係の取り組み方も異なるものになりました。

Q 5. 出身の国のよいところを、ひとつ紹介してください。

マレーシアはマレー人、中国人、インド人、3つの民族を共生している国家です。文化の多様性、美味しい食べ物、そして親しみやすい人々が特徴です。

本学ホームページをリニューアルしました！

2023年9月～本学ホームページが新しくなりました。
今までとイメージが変わり、情報量もアップしています。
ぜひチェックしてみてください！

📄 <https://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>



本学HP



① 外国人留学生 応援サイト

●メニューバー右上▷「外国人留学生 応援サイト」



本学への受験を考えている留学生やその先生方のために、「英和ってどんな大学？」や「留学生インタビュー」「入学者選抜・支援について」「学生生活について」などの情報を簡潔にまとめたページとなっています。



応援サイト

② 留学生センター

●メニューバー▷学生生活▷留学生センター



留学生センターとは、本学に設置されている留学生の相談窓口です。

このページには国際交流に関する最新ニュースの他、「センターの概要」や、「授業・学費・奨学金」「生活について」など、入学してから知りたい情報がまとまっています。

過去に発行された留学生センター通信も掲載されており、今までの活動内容を見ることができます。

各種 SNS 更新中！

●ホームページ下部のアイコン



Facebook、Instagram、X(旧twitter)、LINE、Youtube を随時更新しています。
イベントの情報や授業の様子、学食メニュー紹介など、英和の最新情報を見ることができます。

お問い合わせ先

お気軽にお問い合わせください。

静岡英和学院大学

- ・人間社会学科
- ・コミュニティ福祉学科

静岡英和学院大学短期大学部

- ・現代コミュニケーション学科
- ・食物栄養学科

〒422-8545 静岡県静岡市
駿河区池田1769番地
054-261-9201(代表)

info@shizuoka-eiwa.ac.jp

留学生センター

留学生の生活やさまざまな疑問
にお答えします。

054-264-9489 (直通)

英和入試センター

入試制度や受験相談等何でも
お問い合わせください。

054-261-9322 (直通)

企画部連携課

日本語学校様等機関のご相談
はこちらに。

054-262-0091 (直通)